

萃福心

140

34

特61
879

救主降生二千九百年

幸福之道

東京大司教伯多祿瑪利亞認可

序

幸福何處にか存する、古往今來人皆之を追求す、然れども捕雲捉影の感なき者は殆ど稀なり、時として眼前に髣髴たるが如くなれども、之を捕捉すれど、雲散霧消す、嗚呼是れ幻影なり、幸福にはあらざるなり、若夫れ幸福組成の要素に至りては、誰か之を一束し得る者あらんや、萬福を一身に極むと云ふと雖、往々何等かの要素を缺如す、然りと雖幸福の存在は、確信疑ふ可からず、吾人幻影に欺かるゝこと千遍萬

回に及ぶと雖、之を追求するを斷念せざるは、蓋し其の一證とし見るべきなり、又若し茲に斷念せんか、人生の悲歎之に如くものなけん。

果して然りとせむ、追求追求又追求、然れども遂に之を捕獲する者の晨星音ならざるは何ぞや、他莫し、滔々たる天下皆其の追求すべき處に之を追求せずして、追求すべからざる處に之を追求すればなり、舉世皆迷へり、幸福を求むるに其道を以てせず、焉ぞ之を捕獲するを得んや。

此の小冊子は乃ち是れ其道を教ふるものなり、故に

題して『幸福之道』と云ふ、請ふ執て讀め、世人の知らずして求むる所のものは、此道の極まる所に在るを認めん、天下之を除て他に幸福安立の道なし、是れ世界一般の經驗の結果なり、書して以て序となす。

明治三十三年六月中浣

フランソアー、リギヨル 識

○目次

天主…………… 一頁

人間…………… 十六頁

天使…………… 十八頁

基督…………… 二十頁

教會…………… 二十六頁

未來…………… 三十八頁

幸福之道

天主

此の世界には連つてをる原因結果がある、則ち
 毎日出来る者は以前の者より生せられて、其の
 以前の者も亦他の者より生せられたのである
 が、際限無き次第とはいはれない必ず第一原因
 に至る筈である何せなれば第一原因がなければ
 ば第二第三などは出来ません其の第一原因を
 心と申します

眞の神は只だ一つです、眞の神は天地萬物を造り出されました其故に造物主又は天主と云はれます、天主は一番優れたる者なれば靈であります、天主は靈ですから肉眼では見えませんが智慧を以て其の業を考へて見れば如何なる御方と云ふことが分ります人間は纔か家を建るにも村木を集め道具を使ひ色々の苦勞を爲ねばなりません、天主は何をも用ゐずして容易く天地を造り出されました而已ならず、勞せずして始終天地萬物を守り又司つて居なさるのであります

時計を見れば其の作つた時計師の智慧と才能とが知れる、則ち進もせず遅もせぬ極上等の時計ならば必ず其の作つた時計師は余程智慧も才能もあると云ふことが分ります、くるはぬ時計は感心なものです、是より千萬まさらぬ感心なもの、毎日見る太陽ではありません、か太陽と云ふものは火の球であるのに極定まつた時に東より出で段々昇り西の方へ入り國々を變り、に照し、夜晝の區別を致す而已ならず、春夏秋冬の季節が出来るのも太陽の御蔭

である、時計師は如何なる智慧があつても年中
毫もくらはん時計を作る事は出来ずまいが、
天主が御作り爲された太陽月などは世の初か
ら一分間でも一秒間でもくるつた事はありま
せん、智慧のない太陽がアー云ふ感心な道を守
るのは、是則ち太陽などを造つて司る天主が此
の上もない智慧も力もある證據であります
天主は又其の太陽が照つたり雨が降つたり四
季が變化したりさせ爲さる御蔭で、花が咲き實
が成り食物などが出来れば人間の肉體を養ひ

其の靈魂を喜ぶせるにたります、實に天主は魚
鳥獸までも人間の爲めに御造り爲された事を
考へて見れば天主は類なき父と云はねばなり
ません、親の心子知らずと云ふが如く、人間は天
主の御心を辨へて居りませんものが多い眞の
神を天主として拜み其恩を報じ奉るは人の道
の第一である
歴史と地理とを見れば神を信ずるのは今の文
明國に限らず昔から今日まで何處の國でも人
間より勝れたる者をたて、是を拜むから世界

萬國は神の存在を眞理として居ると云ふことが分ります是に依りて神を信ずるのは人性に從ひ神を信せぬのは人性に背くのである「ナポレオン」一世は常に天主の事を云ひ成さるから學問の半熟先生が申すには「アー云ふ様に神の事を云ひなさる事は陛下の様に世界第一等の人間に似合ひませんと申上げたら「ナポレオン」はそんな事を云ふな歴史を見よ第一等の人間は却つて神を信じたではないか神を信ずる事こそ第一等の人間の行である」と申されま

した
「ニットン」の傳を見れば此の人は天主の立派な信者でした而已ならず學問を深く研究するほど造物主を深く感心して尊びました、第一等の人間は天主に對してへりくだり半熟先生は學者ぶりにて自主自由と唱へる事がありたがるから、なせ無神論者が有ると尋ねてみれば必ず其の人は學問があるからでは無く却つて學問が足らんからであるかも知れんが然し無神論の本當の元は大概傲慢邪欲である則ち神があれ

を是を神として尊ぶねばならん傲慢邪欲は厭
はねば成らん左様に致さん時は終無き罪に當
るはずであるがさう云ふ道を守るのは幾分六
ヶ敷から傲慢を守り邪欲に迷ひ自主自由と唱
へて遂に神が無いと口で云ふ様になる連中も
ありますすが其の本心は何様であるか分らん
神の存在を承知せんならば外に種々不道理な
ことがあります尙尤も一つ例を擧ぐれば如何
に淺く論じても此の世界の秩序を承知せんも
のはありません

宇宙天然の大機關は靈妙不可思議にして此地
球面の萬物上は人類より下は禽獸草木土砂塵
埃の微に至るまでも其列を得ざるなしなど皆
人承知して居りますすが世界は此の上もない感
心な器械と承知しながら其の器械は器械師が
なくて則ち偶然に出来たと云ふならば斯く云
ふ論は淺薄なばかりでなく實に馬鹿げた議論
と云はねをなりませぬ時計が偶然に出来たと
か器械が偶然に出来たとか云ふよりも世界は
偶然に出来たと云ふ方が遙に劣つた話です

此の世界には運動がある運動する者は有形物
であるが、有形物には情性があるにより他の者
より動かされて居るからでなければ動きはし
ません、其故に運動する者は必ず無形物の力に
より直接に又は間接に動かされて居る、縦へば
筆を使ふときに筆は手に依りて動かされて居
る又筆が動く原由を尋ぬるに心則ち無形物に
依つて動かされて居る、情性の原則は一般であ
れば、太陽月星などの運動も其の原則に依る、世
界一般運動の第一原因である無形物は神と申

します
智慧ある者の御蔭でなければ、智慧無き者は道
を守り方法を撰び目的に達する事が出来ませ
ん、縦へば矢の的に中るのは弓を引く者の御蔭
である様なものです、乍然智慧の無い者は毎日
定律に従ひ道を守り命を保つためによき方法
を撰ぶ其に依りて此の世界に肝心な秩序が出
来ます、秩序を知らない者は秩序を目的にして
これに達するのは是れ則ち智慧の勝れたる者
(神)が智慧無きものを司りて、道を守らせ目的に

達せしめるわけです
 右は哲學上の道理ですが、他の學問から依を一つ
 の擧ぐれば今地質學では何時此の世界に有性
 物と人間が現れたと大概知れて居ります處が
 命は何處から來たか則ち命がある者から來た
 です是を造物主と申します、若し有性物は命が
 ない者より出で智慧が有る者は智慧のない者
 より出でたと云ふたならむ、實に憐む可き愚説
 ではありませんか
 委敷く云へば天主は萬物の第一原因である、第

一原因であるから御自分の力に依つて在しま
 す、又御自分の力に依つて生きてをられます、其
 に依りて他の者を残らず在らしめ生きさせま
 す、天主は始も無く終も無く限も無く變もなく
 則ち完全なる神様である、天主は天にも地にも
 何處にも在さざる所はありません天主の力で
 は出來ぬ事は有りません、天主の智慧では知ら
 ぬ事はありません、則ち前の事も今の事も後の
 事も又人の考へて居ることまでも知つて居ます、
 天主は善を好み惡を嫌ひなされば、後の世に善

人を賞し悪人を罰し成さる、又其の賞罰は終が
無いのです、されを神で無いものを神として貴
び、造り主を知らないで其の造られたものを拜
むのは實に謂のない事です
天主を拜む道は只口斗りで唱へるでは無く口
よりも心、乍然心に聲を相合せて左の如く謹み
て祈るがよろしうござります
天に在す我等の父よ、願くは御名の尊崇まれ
んことを御國の格らんとを、聖旨の天に行は
る、如く、地にも行はれんとを、我等の日用の

糧を今日我等に與へ給へ、我等が人に免す如
く我等の罪を免し給へ、我等を試に引き給は
ざれ、我等を悪より援ひ給へ、アメン
とイエズスキリスト様が教へなされた通り祈
るならば必ず天主様は聴入ます
大抵の人は天主を尊ば無いとは云はれません
則ち忙敷くて又色々の事からして神があると云
ふ道理を確めて居らない人もあります、斯く云
ふ人は口でも心でも神が無いとは云はんから
無神論者があるとしても其の数は極く少く此

世界に盲目者があつるが如くである世界にはあ
ちこち盲目者があつるから人類が盲目である
云ふ譯には行きませぬのです

人間

人間の此の世に有るのは、天主を知り是を大切
にし是に仕へ其に依つて終なき天國の幸福を
求める爲めである、天主は初に男女一人宛造り
給ひました、其の男は「アダム」女は「エワ」と申しま
す、世界一般の人民は「アダム」と「エワ」の末である、
人間は肉體に靈魂を相合したるものである、肉

體より靈魂の方が勝つてをる、なせなれを靈魂
は智慧と自由とを具備したるものなれば天主
に形取りたるもので有るからです、「アダム」と「エ
ワ」は造られた時に何不足も無く特別なる恵を
蒙り我々などより余程勝れたる人間でしたの
に、惡魔に勧められて程無く天主の命令に背き
罪に落ちました、其の罪の爲めに天主に捨られ
る筈でしたけれども、天主は「アダム」と其の末と
を憐んで、何時か此の世に救主を遣す事を約束
致しなされて、其の救主の天降るのは罪人に代

りて元祖と其の末どの罪を充分に償ひ又愈々
迷うてをる人間を眞の道に歸らしむる爲め
ありました「アダム」が罪に落ちてから四五千年
を経て天主は其の約束の通り救主を遣しな
れた、其の救主はイエズスキリスト様であります

天使

天主は人間の外に無数の天使を造りました、
天使は肉體がなくて人間より余程智慧も力も
ある、造られた時に皆善く有りましたけれど、後
に天主に背いて地獄に落された者も有ります、

是等を悪魔と申します、天主に背かなかつた天
使は賞せられて天國の幸福を受けて居ります、
又人間の助かりに關係して居ります



基督

キリスト様は何時生れたかと尋ぬるに世界一般に其の年號を使ひますから直ぐ知れます則ち今耶蘇降生紀元一千九百年になりましたキリスト様の生れなされた事を毎年十二月廿五日に祝ふのです又何處で生れなされたかと云ふに亞細亞の西に當る「ジュデヤ」と云ふ國「ベトレエム」と云ふ町に生れなされました、キリスト様は救主であるのに賤しい處則ち厩の中で生れる事を好みなされたのは深い意味のある

ことであります、其の御母聖マリアは國王の末で徳の勝れた御方でありましたけれど貧乏してをりました稚兒キリスト様を一番先に拜んだ人は近邊の羊飼其の次が大名たちでした歴史を見れを「ジュデヤ」人などは豫言者の言に依りて救主が其の時生れるはづと知つて居りました、キリスト様は若い時から三十歳までは何も著敷き事を致しません、救主であるのに二人の人間則ち母様と養父様とによく仕へましたのは此の上もない感心な事ではござりません

か其の養父聖イヨゼフは大工の職業を營んで
 居りましたからキリスト様も手を出して汗を
 流し働いて居りなされました是は則ち身分の
 低い者の鏡になり人間の剛慢を挫ぎ謙遜を教
 へる爲であります三十歳の時からキリスト様
 は道を教へ掛り成されたので近邊の人々はあ
 の人は勉強もしなかつたのに何故に學問があ
 るでせうかと申して感心してしまひました其
 の時キリスト様が公會を建てやうと思召成
 されて十二人の御弟子を撰びなされたが能と

學問もなき財産もなき實に用に立たぬ様な者
 を呼びなされました例を擧ぐれば海邊を通り
 掛りて二人の漁夫が網を投つのを見てキリス
 ト様が彼等に云ひなされたには吾に従へ吾汝
 等を人を漁る者と成さむとそこで二人の漁夫
 則ちペートルとアンドレアは直に網を捨てキ
 リスト様に従ひまして外の弟子共も斯様な有
 様で撰ばれましたキリスト様が特別に弟子共
 に教へなされた而已ならず萬民にも常に教へ
 てをりなされた其の教が何でありましたかと

云ふに第一御自分が天主から遣された教主である而己ならず天主の御子實に神様である事、第二人間が踏み行ふべき道則ち天主に對して他人に對して又己に對して盡す可き義務(御自分)は勿論斯様な道をよく守りて居りました(第三)後の世則ち天國と地獄との事、其の上天主を拜む道と天主の助とを求むる方法を定めなさりましたキリスト様の教はまた公教會に任せられました今一場の談にては言ひつくされませんのですから其の一番大事な處に限りて

御話を致します

キリスト様が御自分が天主の御子であると常に教へなされました其の證據には人間の力で出来ぬ天主の力に限る色々な不思議を致されましたあなたは天主の子であれば天主の業を致してくだされと云はれた通り若し其の業を致しませんでしたならば却つて人に笑はれますキリスト様は只一言で盲目者の目を明け足痿を歩ませ癩病人を淨め啞者を物言はせ死人を蘇生らせました事が幾度もあります例を

擧ぐれば或日キリスト様が「ナイム」と云ふ邑に
 至りまして葬禮式に逢ひなされた此の死人は
 其の母の一人子にして母は既に夫にも死にわ
 かれてをりましたキリスト様彼を見て憫み彼
 に云ひなさるに哭く勿れと頓て進み寄りて柩
 を押へました處が之を荷へるものは立止りま
 したキリスト様言ひたまはく少者汝に言ふ起
 きよどそこで死者起きかへりて物言ひ始めた
 によりキリスト様之を其の母に還しなされま
 した群衆は皆恐敬の念をいだき天主を崇めま

した又キリスト様の御懇意を蒙りてをりまし
 たラザロと云ふ人が死んでしまふたときにキ
 リスト様は四日を経て墓の方へ御出なされま
 した其の時悔みに來て居た人が夥多ありてキ
 リスト様は其の人々の前にて目を天に擧げて
 曰く父上聽きたまひしを謝し奉る我は固より
 汝が恒に我に聽きたまふを知れり然れども環
 り立てる人々の爲めに我は之を白せり庶幾く
 は汝の我を遣したまへることとを彼等信ずるを
 得んと斯様に言ひ畢るや又大聲に呼りて曰く

ラザロよ出で來れとそこで死者忽ち出で來り
 ました是を見て大勢の人々はキリスト様を信
 じました又キリスト様は前以て御自分が十字
 架に針付られ死んでから三日目に蘇生と度
 々仰つてゐましたがちやうど其の通りになり
 ました爰に至りて疑ひがありませんか
 ません則ちキリスト様が神様であつたならば
 殺されぬ様にする方が宜しいはずであると云
 ふ人もありませんがさうでないなせなれば殺
 されん様にするのならば人間の力で出來ぬ事

はない殺されてから自分の力で蘇生するはとて
 も人間の力で出來ぬ此の上もない不思議であ
 るキリスト様は實に殺されぬ様にする事はや
 すくありましたけれど萬民の身代りに立ち罪を
 償ふ爲めにわざ／＼苦難にあひなされました
 或人々がキリスト様を嫌ひ是を殺す様に成つ
 たのはなせでしようかといふに其の時學士等
 とフワリゼオ人と云ふ剛慢なる教師等が人の
 目を驚かして人民を迷はすからキリスト様は
 彼等を盲目者の手引とかまむしの末とか申し

て始終彼等の剛慢なることなどを人に説きさ
 どしなされた其故に其の剛慢なる者共の人望
 がなくなると是に反してキリスト様が益々人に
 あがめられる様になりました其の證據には或
 日人民はキリスト様を王様に撰ばうと致しま
 したがキリスト様はこれを御承知なさらんで
 遁れなされたフワリゼオ人などがキリスト様
 の人望を嫉んで殺さうと謀つたがキリスト様
 を捕へたいと思つてもキリスト様が承知なさ
 れん間はいつから捕へる事が出来ませんけれ

ども天主が御定めなされた時に至りてキリス
 ト様が前以て言ひなされた通りジュダに依り
 て渡されましたそこで悪黨共はキリスト様を
 捕へ是を殺すに法律らしくして偽證人を造り
 キリスト様をピラトと云ふ裁判官に渡しまし
 たピラトは問ひ見たればキリスト様が無罪で
 あるといふことは直く分りました分つたけれ
 どもフワリゼオ人などに依りて進められた群
 衆は十字架に磔よくと非常に叫ぶからピ
 ラトは恐れて彼等を静める爲めに色々工風を

したけれども聞入れませぬそこでどうく死
 罪を言渡した悪黨共は大いに喜こんでキリス
 ト様を勝手に苦めてから後兩人の盜賊の間に
 十字架に釘付ましたキリスト様は御自分を殺
 す悪黨の爲めに祈りてから死し給ひました其
 の時も色々な不思議が出来ました是は金曜日
 の午後三時頃でした其の夕方キリスト様の御
 體を十字架から卸さん前に兵卒は鎗を以てキ
 リスト様の脇腹を突き心臓まで突き通し其の
 後御體を岩屋の墓に葬りて大い石を其の墓に

轉ばしかけましたほどなくフワリセヨ人がピ
 ラトに伺つて申すに君よ憶起せむ彼の教唆者
 尙生て居る時言へらく我三日の後に復活すと是
 故に三日目まで命じて墳塋を守らしめよ恐ら
 くは彼の弟子共來りて彼を盗み出し民に向ひ
 て言はん彼死より復活したりとピラト彼等に
 言ひけるに汝等に番兵あれば往いて知るま
 に守れど彼等則ち去りて番兵に墳塋を固く守
 らしめ石に封印をしておきましたたが三日目の
 夜明にキリスト様が復活り太陽の如く光りて

墓から出なざるを見て番兵は慄き恐れ方々に
 逃げて萬民に其の事を知らせました其の後キ
 リスト様が許多の人に顯れ話を致して弟子と
 一所に食事をもなされました餘り不思議だ
 からトマと云ふ弟子が是を聞き申すのに我
 は彼の手に釘の痕を見てその處に吾が指を入
 れ且つ彼の脇の孔に吾が手を入るゝに非ざれ
 ば肯て信じないと然るに八日の後弟子たち再
 び内に會しトマも彼等と一所に居りましたが
 戸を閉てあるのにキリスト様來り中に立つて

汝等平安あれと申されました斯くて又トマに
 言ひまするのに汝の指を茲に差込んで吾が手
 を觀よ汝の手を伸べて吾が脇に入れよ信する
 に客なる勿れ善く信せよと申しましたトマ答
 へて吾が主よ吾が神よといひましたキリスト
 様又彼に言ひまするにトマよ汝は我を見たる
 に依りて信せり見ずして信する者等は幸なる
 哉と斯様なことがござりました初てキリスト
 様は復活つてから此の世に四十日居りました
 其の後大勢の人の前で天に昇りました是等の

事を證する爲めに弟子共始め又幾人も命を取られて殉教者となりましたのであります

教會

キリスト様が一の教會を建て聖ペートルを其の主長と御定めなされた而已ならず此の教會が誤らず世の終まで段々全世界に教へを廣む可しと預言なされましたが是は人間の力で出ませんのですから聖靈を教會に遣す事を約束なされました御約束の通り御昇天の後十日

目に聖靈が天降りまして弟子共に教を能く悟らしめ天よりの力を得せしめ給ひました其の前に弟子共は文盲な漁夫などであつたのに聖靈を蒙つてから後は學者をも諭し苦しみを恐れず教の爲めに大事な生命を捨つる様な豪傑となりました其の時から教會が始終聖靈の助を受けてをりますキリスト様の終りの言に弟子共に斯様仰せられました汝等行きて萬國民を教へ父と子と聖靈の名に依りて彼等を洗せよ我は世の終りまで日々汝等と共にあるなり

と
 父と子と聖靈は三つの神ではなく
 同じ神性をもちなされまして全く
 一つの神であります只別なヘルソ
 ナで御座ります

未來

世の終に人が残らず天主の力で蘇生すとキリ

スト様が教へなされました其の時キリスト様が
 が無数の天使を連れて天に顯はれ威光の坐に
 座しなされるれを萬民が其の前に集つてきます
 のでキリスト様彼等を相分かち善人を右に惡人
 を左に置き右の者に向つて云ひなされるのに我
 が父に祝せらるゝものよ來りて世の創始めよ
 り汝等の爲めに備へられたる國を獲よと左の
 者に云ひなさらには誼るゝ者よ我を離れて退
 け惡魔と其の使共の爲めに備へられたる永遠
 の火に入れよと是等惡しき人は永遠の苦みに

入り彼等善き人は永遠の生命に入るとキリス
ト様かくはしく教へなされました
天国にては靈魂が直接に天主を見肉體が世の
終に蘇生りてから天使の様になるから言ふに
いはれぬ幸福を得ますキリスト様が説教なさ
る時に天国を一番望ましきものに譬へました
又天国の一日は此の世の千の吉日に勝ると云
ふのが教に叶うてをります譬無く申しますに
天主を大切にする者の爲に天主が備へなさ
れた幸福は目にも觸れない耳にも入らない腹

にもはいつた事はありませんと聖書に書いて
あります地獄にては天主を見ない又終りなき
火の苦を受けるのであります天主は父である
のにどうして終なき地獄があるかど云ふ人も
ありませうがそれは其の人々が天主の尊き事
と罪の悪事を辨へてをらんからです道理上
から見れば天主は人を愛して其の一人子を與
へるほどの有り難い父でありますから其の不
孝なる者は尙更罰に當らねむならぬはずキリ
スト様が教へなされた通りです則ち苦を受け

なさるときにキリスト様が生木さへ如斯なればまして枯木はいかにぞやと仰せられました説明せば生木が天主の御子で枯木が罪人である其の意味は罪人の身代りに立て天主の子は如斯苦に會ふのでありますれば本當の罪人はいかなる苦に會ふ可さかど云ふ御言であります
 此處に至りてなせ宣教師があるかと言ふことがわかります則ち人を助ける爲めである人に地獄を避けさせ天國を得せしめる爲めに其の

兩親などを難れ本國を去るのは最もな事である
 宣教師は思ふのであります傳道に従事する者の報はキリスト様が云ひなされた通りである
 則ち凡そ我が名の爲めに或は兄弟或は妹姉或は父母或は妻或は子或は田畠を捨つる者は百倍を受け且つ終なき生命をもつといふこと
 であります
 基督教の旨は信すべき事と行ふべき事にあり
 ます
 信すべき事は左の如し

使徒信經

我われは天地てんちの創造さうぞう主しゆ、全能ぜんのうの父ちちなる天主てんしゆを信しんず、
 又また其そのの御おん一ひとりの子こ、我われ等らの主しゆ、耶蘇イエズス基督キリスト、即すなはち聖靈せいれいに
 由よりて孕やみり童貞どうていマリアより生うまれ、ボンシオ、ピ
 ラトの管下くわんかにて苦くるしみを受け十字架じよじかに釘つばられ、死し
 て葬はらまれ、古聖所こせいじよに降くだりて三日みつか目に死し者しやの中うち
 より蘇よみがへり、天てんに昇のぼりて全能ぜんのうの父ちちなる天主てんしゆの右みぎ
 に坐まし彼處かこより生いける人ひとと死しせる人ひとを審まか
 ん爲ために來きたり給たまふ主しゆを信しんず、我われは聖靈せいれい聖公會せいこうかい
 諸聖人しよせいじんの通功つうこう、罪つみの赦免ゆるし、肉身にくしんの復活よみがへり、終をわりなき生いの

命ちを信しんじ奉たてまつる亞孟アメン
 行おこなふべき事ことは左ひだりの如ごとし

天主の十誠

第一 我われは主しゆなる汝なんぢの神かみなり我われの外ほか汝なんぢに神かみあ
 るべからず。

第二 汝なんぢ主しゆなる汝なんぢの神かみの名なを濫あやりに呼よぶ勿なかれ。

第三 汝なんぢ安息日あんそくじちを聖日せいじちとすべきことを記憶おぼゆ
 べし

べし

第四 汝なんぢ父母ははを尊敬うやまつふべし

第五 汝なんぢ殺ころす勿なかれ

- 第六 汝姦淫する勿れ
- 第七 汝盗む勿れ
- 第八 汝僞證する勿れ
- 第九 汝人の妻を戀る勿れ
- 第十 汝人の所有物を貪る勿れ

附言

キリスト教は他の宗教と違つて文明開化が進歩するに従つて衰へは致しませぬ却つて最も文明なる諸國に一般盛んであるなせなれば研究

すればキリスト教は道理が備はつてをり又歴史を見れば文明開化の原因であるのです今日歐米各國の教育法律などはキリスト教に基きてをる其の信者の數は世界中に殆ど五億萬人である其の中に歐米各國の帝王大統領など又學者無學者上下の差別無く人が信仰してをる其の教師は昔から行もよし學問もあるから余程進歩を助けてをります是を考へて見れば耶蘇教退治と言ふものは進歩退治である天皇陛下は進歩を重じ宗教自由

を命いのちとなされました通りイエズスキリストの
教けうを信しんじて守まもるのは日本にほん國體こくたいの爲ためにも却かえつ
て結けつ構かうであると存ぞんじます

幸福之道終

明治三十三年六月二十日印刷
明治三十三年七月二日發行

東京市京橋區明石町六丁目三十五番地

編輯兼 發行者 天主教會

東京市京橋區木挽町二丁目十四番地

右代 表 者

石川 音次郎

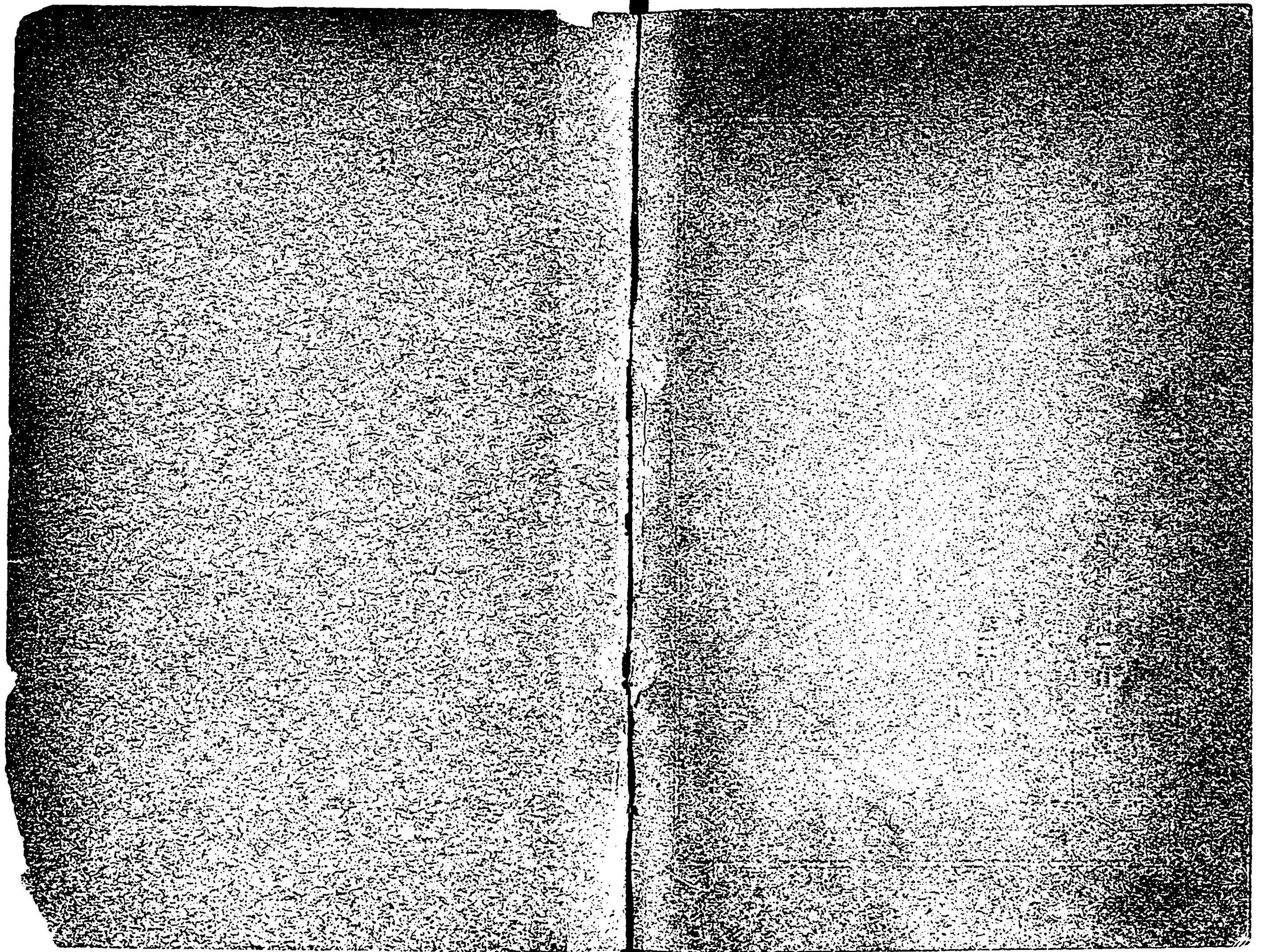
東京市京橋區築地二丁目廿一番地

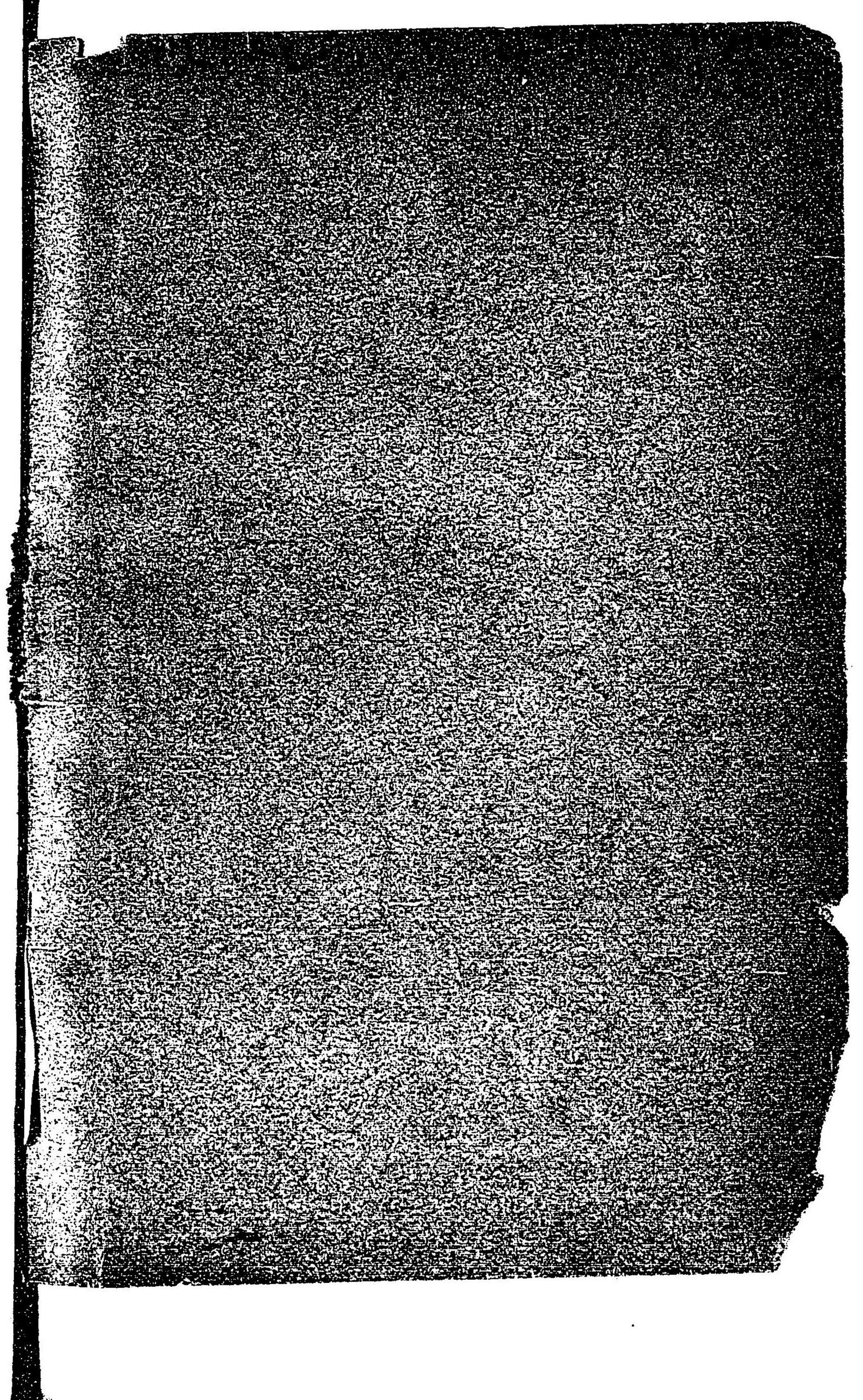
印刷者 河本龜之助

印刷所 國光社印刷所

東京市神田區錦町二丁目十三番地

賣捌所 三才社





020634-000-2

特61-879

幸福之道

天主公教会 / 編

M33

ABI-0450

